

第**71**期 第2四半期
株主通信

2012.4.1～2012.9.30

トップメッセージ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに当社第71期(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)の営業の概況をご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後ともご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年12月

代表取締役社長 関口 陽介

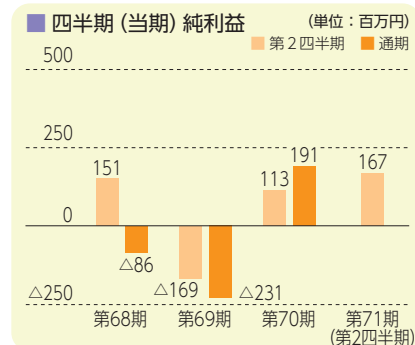
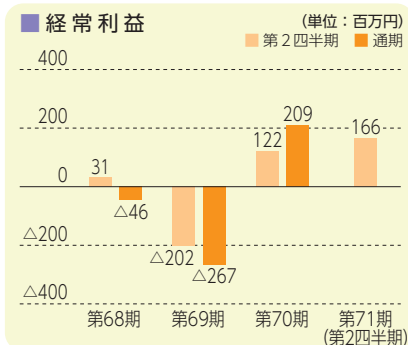
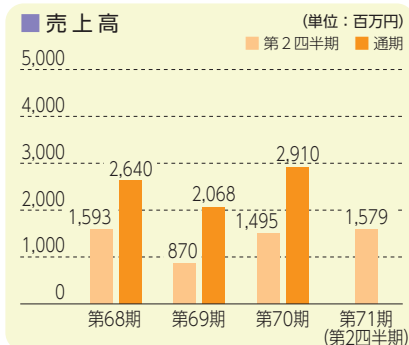
当第2四半期の概況

当第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）におけるわが国経済は、東日本大震災の復興関連需要等を背景に景気は緩やかな回復傾向で推移しているものの、近隣諸国との領土問題による輸出産業への影響や、依然として継続している円高・デフレ傾向など、日本経済を取り巻く環境はさまざまナリスクを抱えた非常に厳しい状況が続いております。海外におきましても、欧州政府債務危機再燃による世界的な金融不安拡大や、新興国における経済成長の鈍化など、不安

定な要素が存在しており、引き続きわが国経済の先行きに不透明感をもたらしております。

このような状況の中、当社では、シナジー効果の薄れていた株式会社光電機製作所（連結子会社）を売却して、今まで以上に工業炉燃焼装置関連事業に集中する体制を整えるとともに、徹底した経費削減による販売費及び一般管理費の抑制、及び、厳格な工程管理の徹底などによる原価・クレーム費削減等の収益体質の強化と、既存顧客へのフォロー営業の徹底や低燃費・低環境負荷を実現する戦略的商品に対して積極的な営業活動などを展開

連結決算ハイライト



して受注の確保に努めてまいりました。これらの結果、前期に受注した海外向け大型案件が順調に進捗したこともあり、当第2四半期の業績は、売上高15億7千9百万円（前年同四半期比5.6%増）、営業利益1億6千2百万円（前年同四半期比38.6%増）、経常利益1億6千6百万円（前年同四半期比35.9%増）、四半期純利益1億6千7百万円（前年同四半期比47.7%増）となりました。

下半期の見通しと通期連結業績予想について

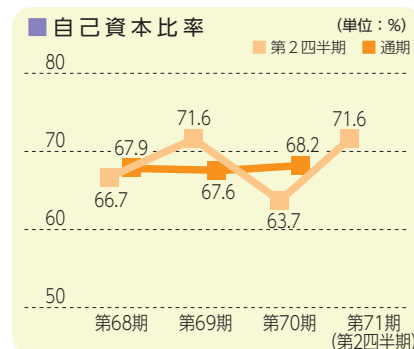
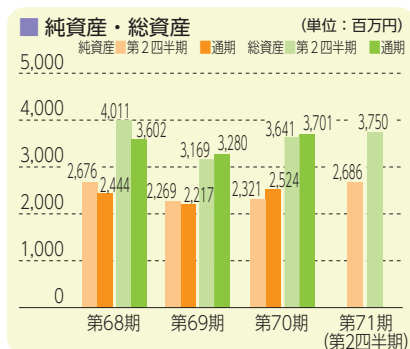
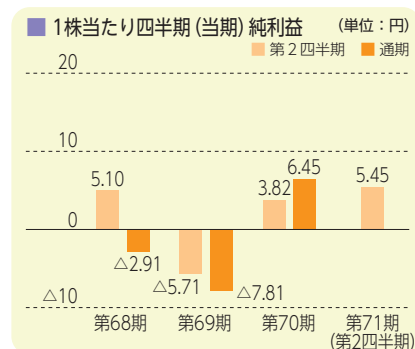
当第2四半期連結業績につきましては、比較的採算性の高い大型案件が順調に進捗したことなどから、当初計画を上回って推移しておりますが、第3四半期以降は長期化する円高や混迷を深める世界経済などにより、わが国経済の先行きにも不透明感が増してきており、当社グループを取り巻く事業環境も厳しい状況で推移していくものと予想されます。そのため、現時点では平成24年5月13日に公表しました通期連結業績予想（連結売上高32億5千万円、連結営業利益2億4千7百万円、連結経常利益2億5千万円、連結当期純利益2億3千万円）を据え置くことといたしました。

今後の状況等により、通期連結業績予想に修正が必要と判断した場合には速やかにお知らせいたします。

中期経営計画について

当社では、2011年度（平成24年3月期）から2013年度（平成26年3月期）までの3年間を計画期間とする「13中期経営計画」において、「燃烧機器関連事業の強化」、「先端ニーズに対応する研究開発体制の構築」、「黒字体質の確立」、「コンプライアンス、コーポレートガバナンス重視の徹底」の4つを掲げ、これらについて全社を挙げて継続的に取り組み、業績を安定させることにより、ステークホルダーの皆様から信頼を寄せられる企業になることを目指しております。

また、「13中期経営計画」の具体的な事業戦略として、「国内事業基盤の再構築」と「海外売上拡大」の2つを柱に、連結売上高拡大と安定的な黒字体質の確立を目指してまいります。



四半期連結財務諸表

■ 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	当第2四半期 平成24年9月30日現在	前 期 平成24年3月31日現在
資産の部		
流動資産	2,776,194	2,684,498
現金及び預金	1,339,142	1,373,419
受取手形及び売掛金	1,094,610	888,600
仕掛品	185,822	266,700
原材料及び貯蔵品	147,370	152,496
その他	9,894	4,422
貸倒引当金	△646	△1,140
固定資産	974,728	1,016,519
有形固定資産	801,118	806,798
建物及び構築物(純額)	85,745	91,321
機械装置及び運搬具(純額)	6,487	6,132
その他(純額)	5,863	6,322
土地	703,022	703,022
無形固定資産	4,805	3,038
ソフトウェア	4,805	2,764
その他	—	273
投資その他の資産	168,803	206,682
投資有価証券	104,371	111,680
破産更生債権等	30,950	925,250
その他	99,318	129,888
貸倒引当金	△65,837	△960,137
資産合計	3,750,922	3,701,017

資産／負債

四半期純利益の計上や売上高の増加により、受取手形及び売掛金が増加しました。その一方で、大型案件の売上計上などにより、仕掛品や前受金が減少しております。

科目	当第2四半期 平成24年9月30日現在	前 期 平成24年3月31日現在
負債の部		
流動負債	576,294	683,970
支払手形及び買掛金	301,874	331,876
短期借入金	43,650	38,200
未払法人税等	16,671	11,883
賞与引当金	77,111	70,392
完成工事補償引当金	59	10,524
工事損失引当金	6,333	1,121
前受金	73,160	139,147
その他	57,434	80,824
固定負債	488,049	492,496
長期借入金	3,750	11,250
退職給付引当金	231,337	229,236
再評価に係る繰延税金負債	228,821	228,821
役員退職慰労引当金	15,750	14,750
その他	8,391	8,438
負債合計	1,064,344	1,176,466
純資産の部		
株主資本	2,273,077	2,105,547
資本金	2,131,532	2,131,532
資本剰余金	40,280	40,280
利益剰余金	101,461	△66,069
自己株式	△195	△195
その他の包括利益累計額	413,500	419,004
その他有価証券評価差額金	△795	4,708
土地再評価差額金	414,296	414,296
純資産合計	2,686,578	2,524,551
負債純資産合計	3,750,922	3,701,017

純資産

四半期純利益1億6千7百万円の計上などにより、前連結会計年度末に比べて6.4%増加し26億8千6百万円となりました。

■ 四半期連結損益計算書（第2四半期連結累計期間）

(単位：千円)

科 目	当第2四半期	前第2四半期
	平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで	平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで
売上高	1,579,121	1,495,542
売上原価	1,117,314	1,058,360
売上総利益	461,807	437,181
販売費及び一般管理費	299,087	319,739
営業利益	162,719	117,441
営業外収益	5,039	6,966
営業外費用	1,308	1,939
経常利益	166,451	122,468
特別利益	18,782	0
特別損失	2,773	3,572
税金等調整前四半期純利益	182,460	118,895
法人税、住民税及び事業税	14,929	5,669
法人税等還付税額	—	△175
少数株主損益調整前四半期純利益	167,530	113,402
四半期純利益	167,530	113,402

損益計算書

①売上高

海外向け大型案件が当初の予定よりも順調に進捗したこと、戦略的商品に対して積極的な営業活動を展開して受注の確保に努めたことなどから前年同四半期比5.6%増の15億7千9百万円となりました。

②四半期純利益

採算性の高い大型案件が寄与したことや、徹底した経費削減による販売費及び一般管理費の抑制の結果、1億6千7百万円となりました。

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書（第2四半期連結累計期間）

(単位：千円)

科 目	当第2四半期	前第2四半期
	平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで	平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△81,111	133,026
投資活動によるキャッシュ・フロー	56,102	21,969
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,050	△900
現金及び現金同等物に係る換算差額	△582	△771
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△27,641	153,324
現金及び現金同等物の期首残高	1,325,784	1,179,767
現金及び現金同等物の 四半期末残高	1,298,142	1,333,091

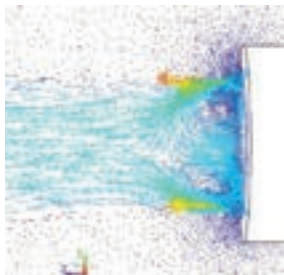
キャッシュ・フロー

営業活動により使用した資金は、税金等調整前四半期純利益1億8千2百万円の計上となったものの、売上債権も増加したことなどにより8千1百万円となりました。投資活動により獲得した資金は、保険解約等により5千6百万円となりました。財務活動により使用した資金は、2百万円となりました。これらの結果、当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して2千7百万円減少し12億9千8百万円となりました。

■ Pick Up 戦略的新製品の開発状況

1. キルンバーナ

セメント焼成用キルンバーナにつきましては、成長を続ける新興国市場での需要の増加に対応するとともに、国内外既存顧客への海外メーカによる攻勢に対抗するため、既存製品の大幅な改良を行ってまいりましたが、この度、従来の製品に比べて、火炎制御性能、燃焼効率、低公害性を大幅に改良した革新的なキルンバーナの開発がほぼ完了いたしました。当社独自の流れ解析技術CAFATと数値計算コードによるCFDシミュレーションの両方を使い、更に燃焼実験で最終確認を行うという手法により精度の高い性能予測を行いながら開発を進めた結果、非常に高性能なバーナとなっております。今後、成長市場での新規顧客獲得が見込まれております。



CFDシミュレーション



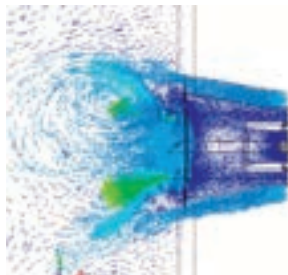
燃焼実験



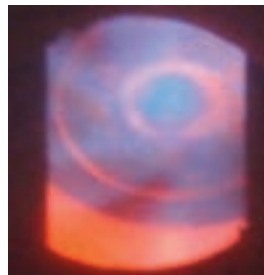
バーナノズル

2. 大型（水管）ボイラ用新型低NOxバーナ：ULX

キルンバーナ同様にグローバルな成長市場での需要が多く、海外各社との競合が激化している大型ボイラ用バーナにつきましては、高性能かつ低価格化が緊急の課題となっておりますが、この度、大手ガス会社様の協力を経て、低NOxながら安定的な燃焼性能による低COを実現した、競合他社を凌駕する高性能バーナを開発いたしました。実験段階においてはNOx値30ppm台（@0%O²）の良好な結果を実現しております。20～50トン/hの蒸発量の大型ボイラ用バーナとしては、優れた低NOx性能を実現しながらも、改造工事等を容易にする充分な小型化を果たしているのが大きな特徴となります。高い環境性能で国内外でのシェア拡大のための大きな戦力として期待されます。



CFDシミュレーション



燃焼実験

■ 会社の概要

社 名 株式会社NFKホールディングス
 設 立 1950年4月12日
 資 本 金 21億3千1百万円
 従 業 員 数 100名 (連結)
 事 業 内 容 持株会社
 (工業炉燃焼装置関連事業)

■ 事業所

本 店 神奈川県横浜市鶴見区尻手2-1-53

■ 国内子会社

会社名	所在地	資本金	議決権比率
日本ファーンエス株式会社	横浜市鶴見区	100百万円	100%
株式会社ファーンエスE S	横浜市鶴見区	20百万円	100%

■ 役員

代表取締役社長 関口 陽介
 取 締 役 戸羽 光二
 取 締 役 古池 政巳
 取 締 役 田端 雅和
 ※取 締 役 清見 義明
 ※取 締 役 宮原 英輔
 監 査 役 岡崎 稔
 ※監 査 役 笹原 信輔
 ※監 査 役 辻 高史

注) ※印の取締役及び監査役は、社外取締役及び社外監査役であります。

■ 株式の状況

発行可能株式総数 118,610,000株
 発行済株式総数 30,713,342株
 株主数 7,959名

大株主 (上位10名)

株 主 名	持株数 (百株)	持株比率 (%)
オリンピック工業株式会社	10,600	3.45
大阪証券金融株式会社	7,177	2.33
楽天証券株式会社	6,998	2.27
松井証券株式会社	4,429	1.44
斉藤 征夫	3,415	1.11
マネックス証券株式会社	3,253	1.05
竹内 祥晃	2,900	0.94
渡邊 新一	2,800	0.91
NFKグループ従業員持株会	2,592	0.84
永山 正	2,500	0.81

■ 所有者別・所有株数別分布状況

所有者別	(%)	所有株数別	(%)
■ 個人・その他	84.59	■ 1,000単元以上	24.59
■ その他国内法人	5.79	■ 500単元以上	12.46
■ 証券会社	6.86	■ 100単元以上	31.15
■ 金融機関	2.37	■ 50単元以上	11.44
■ 外国人	0.39	■ 10単元以上	16.54
■ 自己株式	0.00	■ 5単元以上	1.94
		■ 1単元以上	1.88
		■ 1単元未満他	0.00

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	
・定時株主総会	毎年3月31日
・中間配当	毎年9月30日
・期末剰余金配当	毎年3月31日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話参照先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の全国各支店で行っております。
単元株式数	100株
公告方法	電子公告 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 公告掲載URL (http://www.nfk-hd.co.jp)

- ・住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・株主様のご住所・お名前に関する文字に関してのご案内
株券電子化実施に伴い、株主様のご住所・お名前の文字に、株式会社証券保管振替機構（ほふり）が振替制度で指定していない漢字等が含まれている場合は、その全部または一部をほふりが指定した文字またはカタカナに変換して、株主名簿にご登録いたしております。このため、株主様にご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置換えられる場合がありますのでご了承ください。株主様のご住所・お名前として登録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

ホームページのご案内

NFKホールディングス HP



ホームページURL:
<http://www.nfk-hd.co.jp>

日本ファーンレス HP



ホームページURL:
<http://www.furnace.co.jp>

ファーンレスES HP



ホームページURL:
<http://www.furnace-es.co.jp>